

## 指定管理業務評価結果書

### 1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	神楽尾公園
(2) 指定管理者	所在地 津山市山北764番地5 名称 株式会社ガット 代表者 代表取締役 美甘信吉
(3) 公の施設の所管部署	津山市 都市建設部 公園緑地課
(4) 指定期間	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日
(5) 評価対象期間	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

### 2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	公園入園者数 57,548 人 (前年度 66,136 人) ゴーカート利用者数人回 9,531 人回 (前年度 11,279 人回) 管理棟研修室利用者 12 回 述べ 176 人 (前年度 10 回) 野外調理施設利用者数 1,494 人 (前年度 1,613 人)
(2) 事業の内容	4月・・・神楽尾公園さくらまつり 5月・・・端午の節句イベント、柏餅配布 6月・・・山登り&バーベキュー 春の交通安全教室 (総社保育園) 7月・・・七夕そうめん流し LED 親子工作教室 9月・・・社内研修 (和気鶴飼い谷公園、赤穂海浜公園) 秋の交通安全教室 (KOKKO 保育園) 10月・・・AUTUMN FES 開催 三輪ゴーカートデビュー 11月・・・芋掘りイベント (しらゆり幼稚園) 12月・・・オリジナルスタンプづくり教室 1月・・・新春祭 2月・・・雛人形展示

### 3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	8,772 千円	(前年度 8,987 千円)
	利用料金収入	1,280 千円	
	指定管理料	7,200 千円	
	自主事業収入	50 千円	
	その他の収入	242 千円	
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	8,745 千円	(前年度 8,965 千円)
	主な支出		
	人件費	5,414 千円	
	事務費	760 千円	
	管理費	2,291 千円	
	自主事業	280 千円	

### 4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	<p>利用者アンケート調査について、平成 28 年 10 月以降の神楽尾公園利用者及び自主事業（平成 29 年 1 月 9 日開催）から平成 29 年 3 月 31 日までの期間で、アンケート調査を実施。約 20 件の回答を頂きました。公園利用者年代別に 40 代が最も多く、次いで 70 代以上、30 代の方など広く利用を頂いています。地域別の利用割合も津山市内が大多数で、地域に密着した施設という印象です。少数ですが市外の方や県外からいらっしゃった方もおられました。「HP でゴーカートがあるのを知ってきてみた」、「小さいころ来ていて久しぶりに来てみた」、「子供たちはゴーカートが大好きです」、「イベントをいつも楽しみにしています」など頻繁に来られる方や初めて利用される方の意見も頂戴しました。団体別の割合では家族での利用が最も多く、過半数を占める割合で、家族で楽しめる公園という印象を維持しています。公園の印象についてのアンケートでは、清掃面、安全面、職員の対応など大多数から「良い」という評価を頂戴しました。特に職員の対応には花丸も頂いています。次回の公園利用についてもアンケートをお願いし、すべての方から「次回も利用したい」という結果を頂き、これからも長く利用して頂ける公園づくりに力を入れていきたいと思えます。平成 28 年度の自主事業参加履歴を回答頂き、平成 28 年度も実施した「七夕そうめん流し」「LED 工作教室」など、恒例化したイベントは好評を頂いております。平成 29 年度も同じ「そうめん流し」や「親子交流教室」を計画しておりますが、新たな利用者をお呼び込めるようほかにも魅力的なイベントを計画し、より楽しんで頂ける様、最善を尽くしたいと思います。</p>
-----------------	---

(2) 指定管理者の自己評価

入園者数としては、新入園者数計算方式だと、天候不良などでゴーカート運営日が少なく利用者数も伸びなかったため、入園者数は57,548人となり、前年対比は87%に留まりました。対して、従来計算方式を用いた場合、自販機利用者数は伸びており、前年の26,700人に対し、平成28年度は29,600人（前年対比111%）と、利用者数も増えているという結果となりました。

快適な公園を目指し、剪定、草刈、除草に取り組みました。夜間における野外施設無断利用者による私有地への生ごみ等の不法投棄については、地域住民からの要望もあり、警察による夜間パトロールの強化を実施しています。年度事業計画に対しては、利用者人数は減少しましたが、公園管理、自主事業等は、計画通りに実施する事ができました。

収入について、積極的な広報活動や年間10回のイベント、自主事業で継続している電動カーや新たに三輪ゴーカートを導入し、ゴーカート売上は平成27年度には及びませんでした。過去二番目の成績となり、また自販機の売上は過去最高となりました。支出面では、花見シーズンやGWといった繁忙期の安全を考慮した警備費用、また設備老朽化に対して修繕・補修の必要が多々あったため、部品等消耗品の出費が目立ちました。

支出については、職員での作業割合を増やし更に外注費を削りました。また、トイレの蛇口をプッシュ水洗化にしたこと、閉園時に蛇口を取り外しにしたこと、また管理棟の照明をLED化したことで、水道光熱費を大幅に抑えられる結果となり、支出総額の減少に繋がりました。

収支結果について、平成27年度に続き平成28年度も少量ですが黒字を伸ばし、今後は、現在の収支を如何に維持・増加させていくことで、黒字増加を目指していきたいと思えます。平成29年度も継続した収益向上を目標に尽力します。

事業計画にあるイベントを実施し、年間を通して恒例となったイベント、また新しいイベントをすることが出来ました。ただ、平成28年度に行ったウォーキングなど、何度も参加されている方にはマンネリ感もあるようで、次年度は目新しいイベントができるよう計画を立てていきます。10月に導入した自主事業の三輪ゴーカートについても、他と比べて高額ということもあり最初は利用数が伸びませんでした。一度乗った方のリピートなど少しずつ定着を始めており、大人同士で乗りたかった方など来園者へのサービス向上が図れていると思えます。今後も安心、安全を最重点に利用者の方に喜ばれる施設づくりに尽力します。

<p>(3) 市の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業計画に基づき管理運営業務は着実に実施されている。</li><li>・日常の事故防止・安全対策が実施され、緊急時の連絡体制、役割分担制が整っている。</li><li>・雑誌への掲載・HPの作成・パンフレットやチラシの作成を行い、施設の利用を促進している。</li><li>・入園者数は行楽シーズンの休日の天候不良などの影響もあり減少したが、以前から要望のあった大人同士で乗車できる3輪ゴーカートを導入するなど、公園利用者の増加に努めている。</li><li>・効果的な自主事業を実施するとともに、公園利用者や周辺地域住民の要望に応えている。</li><li>・収支計画は事業計画と整合しており、経費の削減に努め、収益を生むなど、効率的な運営が実施されている。</li><li>・快適な公園、安全な公園を目指し、職員の適切な人員配置や育成がなされている。</li><li>・地域の関係団体や地域住民と連携し意欲的に業務を実施し、公園の活用を広げる努力をしている姿勢がみられる。</li></ul>
-----------------	---